

# 第54回文化財防火デーの実施

## 予防課

昭和24年1月26日、日本最古の壁画が描かれた法隆寺金堂が焼損し、その後も文化財の焼損が相次いだことから、消防庁と文化庁では、昭和30年に1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動を展開してきました。

文化財は、私たちの祖先が今日まで残してくれた国民共通の貴重な財産であり、一度燃えてしまうと二度と元には戻りません。文化財建造物の多くは木造建築であるため、いったん火がつくと延焼拡大が極めて速くなるおそれがあります。貴重な文化財を火災から守るためには、日ごろから防火意識を持ち、関係者だけでなく、地域住民等との連携・協力が必要です。

今年も文化財防火デーの1月26日(土)を中心として、全国各地で地域ぐるみ、住民ぐるみの消防訓練等が実施されました。

### ■平成20年1月25日(金)

訓練場所：金剛山正福寺しょうふくじ（東京都東村山市）

金剛山正福寺は、弘安元年（1278年）に北条時宗により開創され、臨済宗で鎌倉の建長寺を本山としています。

東京都内唯一の国宝建造物で、鎌倉にある円覚寺舍利殿とともに唐様建築の代表的遺構です。

東京消防庁のほか、地元の東村山市消防団、正福寺自衛消防隊、東村山防火女性の会などのボランティア総勢約100人が参加して行われた訓練を、荒木慶司消防庁長官と高塩至文化庁次長が視察しました。

### ■平成20年1月26日(土)

訓練場所：日光二荒山神社ふたらさん（栃木県日光市）

日光二荒山神社は、延暦9年（790年）に勝道上人しょうどうしょうにんが創建した神社で、日光山岳信仰の中心です。

男体山の御神霊、大己貴命が祀られています。東照宮造営以前は二荒山神社が日光山内の中心にあり、現在の建造物は元和5年（1619年）に徳川家二代将軍秀忠の寄進により、桃山調の社殿に建て替えられたものです。現存する日光山内の社殿の中で最古の建造物で、世界遺産にも登録されています。

日光市消防本部のほか、地元の日光市消防団、日光二荒山神社をはじめとした二社一寺の自衛消防隊など総勢約300人が参加して行われた訓練を、荒木消防庁長官と青木保文化庁長官が視察しました。



金剛山正福寺への放水（東村山市）



荒木消防庁長官による視察（日光市）



日光二荒山神社への一斉放水